

公共交通手段の将来を考える

～ 神奈中バスは令和9年度、更なる減便か～
令和6年9月の私の議会質問で、神奈中バスから相模原市に対し、令和8年度までに「既存バス路線の統廃合」について市と協議を完了したいことの打診があったことが明らかになりました。

代替手段の確立が急務

だからこそ、相模台地区の乗合タクシー事業や新磯地区のグリーンスローモビリティ事業など新たな交通手段の実証実験を成功させ、市内に広く実装させることが急務といえます。

グリーンスローモビリティ事業と、民間の自動運転サービスとの統合を進める。

グリーンスローモビリティは今後、市内でさらに実績を積み重ねていきます。課題のドライバー確保については、グリーンスローモビリティの自動運転車両化で解消を図るべきです。



(右写真) 国土交通省関東運輸局プレスリリース(令和5年10月20日)より。田名GLP ALFALINK相模原構内を運行する車両。

【その他のニュース】

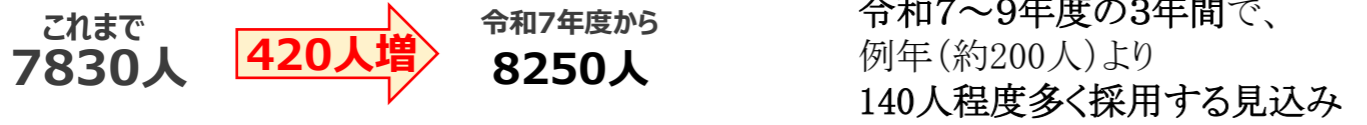
- 相模原駅北口スポーツレクリエーションパークへ夜間照明導入決定。令和7年4月1日から夜間利用(20:30まで)可能になります。
学校給食センターの工事施工者、運営管理者が決定。令和8年12月完成を目指す。以後、中学校は全校給食導入となります。



むかわけい

市政報告vol14 Mail: kmukawa0126@gmail.com TEL:090-8042-5334 事務所: 相武台2-24-6-102

相模原市職員定数条例改正で職員420人増へ



令和7年度採用試験のおおまかなスケジュール(詳細は市HPへ)

Table with 4 columns: 早期採用試験【土木職・建築職のみ】(4月～5月), 大学卒業程度採用試験(6月～8月), 高校卒業程度採用試験(9月～11月), 社会人経験者採用試験(10月～11月). Includes details on exam types and dates.

受験者求む！！

令和6年12月定例会で職員定数条例が改正されました。この条例改正により、令和7年度から職員定数が420人増え、今後3年間を通じて市は新規採用者数を増やします。

増え続ける業務負担の軽減、働きやすい職場環境の実現のために
増え続ける業務負担の軽減、働きやすい職場環境の実現のために
増え続ける業務負担の軽減、働きやすい職場環境の実現のために



むかわけい

- 現在1期目。令和5年度 建設委員会委員 令和6年度 市民環境経済委員会委員 基地対策特別委員会委員(継続) 米軍基地返還促進等市民協議会理事

空き家問題、公園・学校等公共施設の修繕、各種補助金申請、道路新設・修繕、交通安全確保、学校教育等、市政一般なんでもご相談受け付けます。

市政報告書を定期刊行バックナンバーはこちら



(進捗状況) 麻溝台・新磯野の「新たな都市づくり/産業創出の拠点」形成について

“第1整備地区”完成時期は令和14年度に変更

令和4年5月当時、市が第一整備地区の工事再開を判断した際、「令和11年度までに工事を完了させる」と説明していましたが、その後、地権者の土地利用意向調査を実施し、その結果を踏まえた換地設計を進め、基本設計、事業計画や地権者の移転期間を踏まえ、工事全体の計画を具体化したところ、工事完了時期は令和14年度に延長することが必要との判断を下しました。

特に、第1整備地区内で操業をされている事業者の方々が区域内移転を迫られる中、事業者向け仮移転用地（下図赤点線枠）の整備・換地先への移転の段取りが具体化されたことが大きいです。令和11年度完成でなくなったことについて、私からも市民の皆様にお詫び申し上げます。引き続き、早期のまちびらきに向け、私も尽力してまいります。

商業施設の誘致、スケジューリングは

周辺住民の皆様への関心は「この工事で大型商業施設が来る話はどうなったのか」ということかと思えます。小松会病院向かい側（下図12・13街区）には、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストア、家電量販店等10社以上の企業から土地の買取り、進出について市へ問い合わせが来ています。

来年度（令和7年度）、12・13街区の地権者を中心に進出企業の選定組織を立ち上げ、企業を決定するつもりで市は動いています。

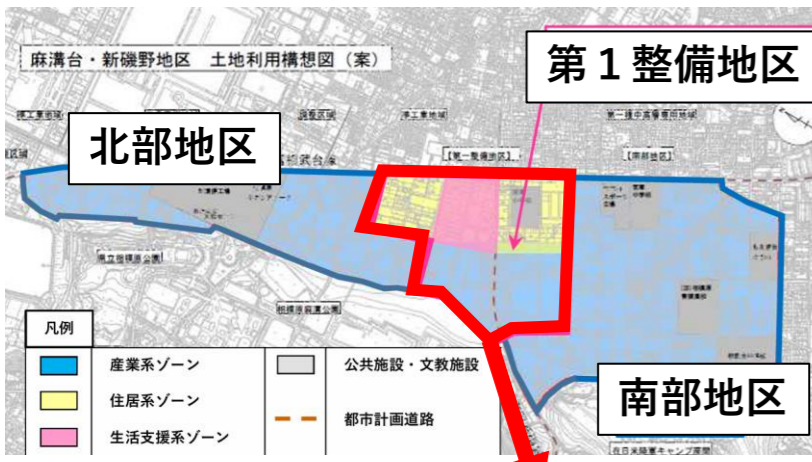
令和9年度から10年度はこの街区の工事は終わる予定ですが、事業者向け仮移転用地（下図赤点線枠）としてこの場所を使うため、進出企業がここで商業施設の建築工事を始められるのは、令和12年度から13年度になる見込みです。

北部・南部地区は
土地区画整理準備組合設立へ向け準備

昨年、「データセンター」を中心としたまちづくりについて、北部地区・南部地区とも地権者の3分の2以上の賛同が得られたことから、区画整理事業実現に向けた次のステップは、土地区画整理準備委員会設立です。その準備として、地権者向け土地利用意向調査、図面作成・測量などが開始されます。

また、本年2月を目途に土地区画整理事業の仕組み等についての勉強会や千葉県印西市のデータセンター視察が地権者向けに開催されます。

このように後継地区も民間（グッドマンジャパングループと地権者）主導で着実に進んでいます。本事業は地域の産業・雇用・まちづくりの将来を大きく左右する一大事業。市費も100億円ほど投入される見込みです。議員として、本件、積極的に支援・関与していく所存です。



第1整備地区の工事順序

凡例	
工事範囲	斜線
住居系	黄色
生活支援系	オレンジ
工業系	青
公園・緑地	緑
仮移転用地(案)	赤点線枠

